

# 道立網走高等看護学院の存続を求める要望意見書

北海道は、全道的な准看護師養成施設が減少し、さらに入学者数が減少する中、道立網走高等看護学院についても今後、学生の確保が見込めないとの理由から、令和3年度の学生の募集を停止するとともに、同年度末をもって網走高等看護学院を廃止する方向性であるとの新聞報道がありました。

道立網走高等看護学院は、准看護師対象の正看護師養成機関であり、その運営については、准看護師を経ずに正看護師を目指す学生が増加するなど、進路の志向や社会状況の変化等に伴い、現行課程での存続は厳しい状況にあることは理解しております。

しかし、医療従事者の地域偏在や看護師の不足は、都市部から離れるほど深刻な問題であり、斜網地域の自治体におきましても医療従事者、とりわけ看護師の確保は喫緊の課題であります。

また、看護師は医療機関だけでなく、介護・福祉の分野においても需要が高まっている職種であり、その養成施設が都市部に集中することは、斜網地域の介護・福祉分野にも多大な影響を与えることになると懸念しております。

道立網走高等看護学院の存続は、この地域で看護師を目指す学生にとって、経済的な負担軽減が図られるとともに、斜網地域における高等学校の進路状況からも需要があると考えております。

大空町議会としては、地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、地域における看護師養成機関は必要不可欠と考えており、道立網走高等看護学院を3年課程の看護師養成所に転換し、存続することを強く要望するものであります。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年3月12日

大空町議会議長 近藤 哲雄

〔提出先〕

北海道知事